

神戸市の「トーホーストア」

バローが事業譲受検討

バローホールディングス

(HD)は26日、トーホーの子会社で食品スーパーを展開するトーホーストア(神戸市)の食品スーパー事業の譲受について検討を始めたと発表した。譲受の金額や期日は未定。

トーホーストアは兵庫県内に34店舗を展開し、神戸市にドミナント(地域集中出店)エリアを持つ。最盛期の1980年代後半には69店舗を展開していたが、競争の激化で事業規模を縮小。バローHDとは2015年に資本業務提携を結んでいた。23年1月期は売上高161億4600万円、経常損失7億3800万円を計上していた。

バローHDは関西への食品スーパーの出店を推進しており、ドミナントで事業

拡大を図る。

トーホーは6月26日、トーホーストアについて、関西を中心に食品スーパーを展開するコノミヤ(大

阪市)への株式譲渡の交渉を中止すると発表。コノミヤから5月上旬に取引を断念するとの申し出があったため、新たな譲渡先を検討していた。トーホーの23年1月期連結売上高は2155億7200万円、経常利益は38億7700万円。